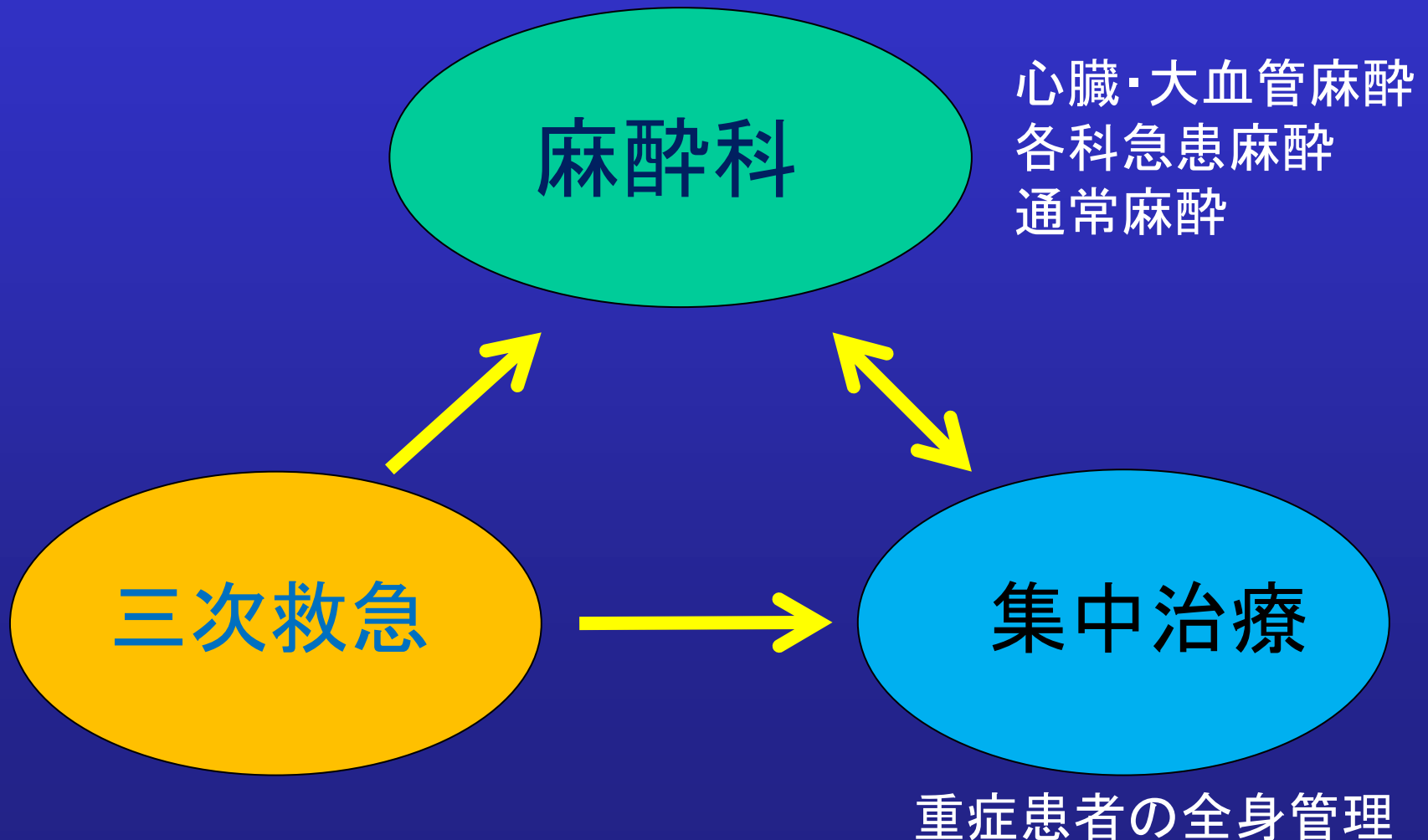


津山中央病院での初期研修 (救急・麻酔)



津山中央病院救命救急センター
森本直樹

津山中央病院救命救急センターは 麻酔科医が運営する救命救急センター

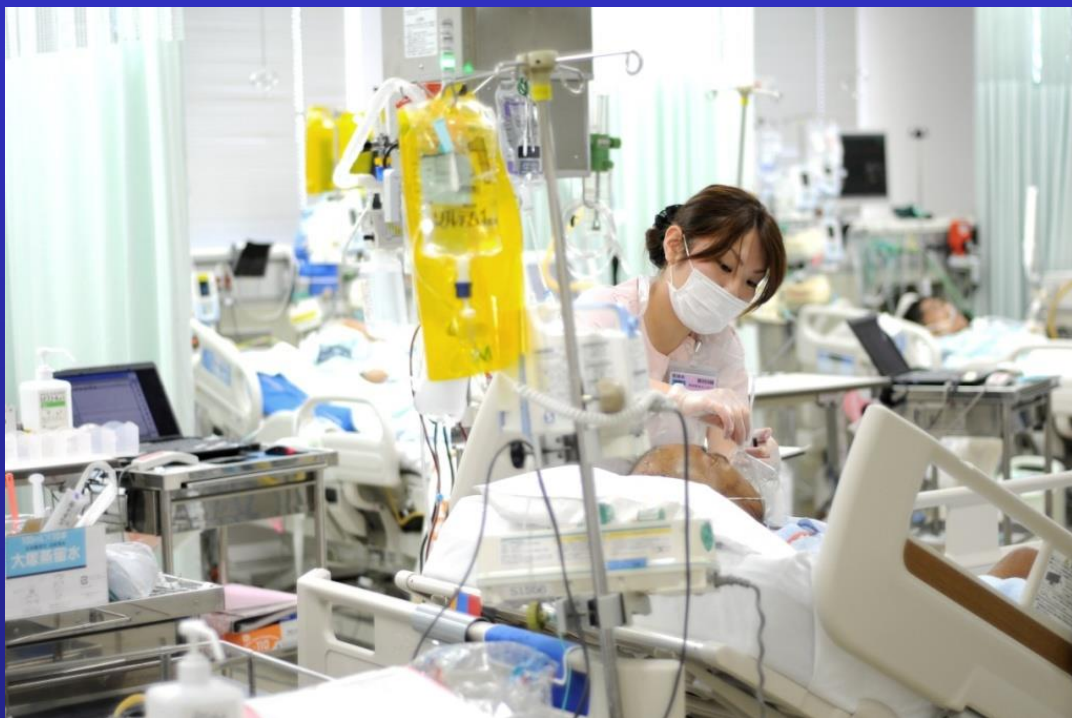


救命救急センター一病棟

ICU 8床

HCU 22床

計 30床



新病棟建築予定

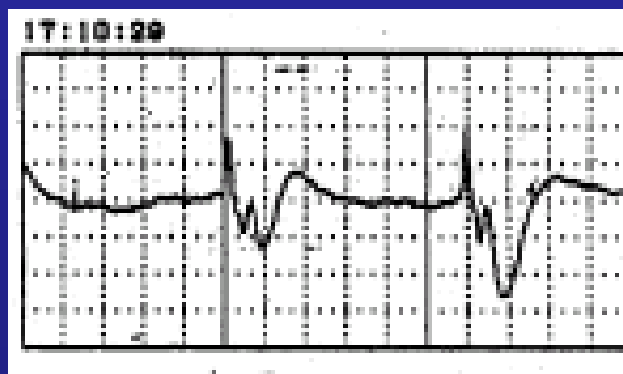
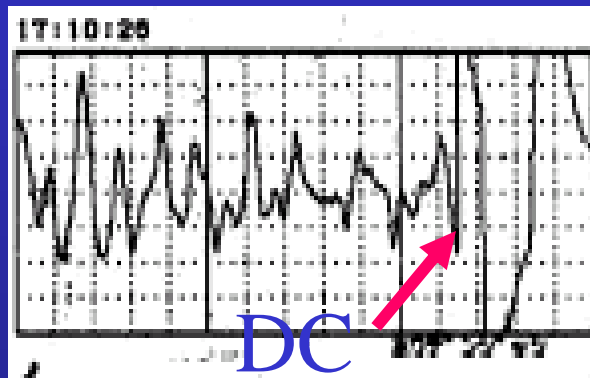
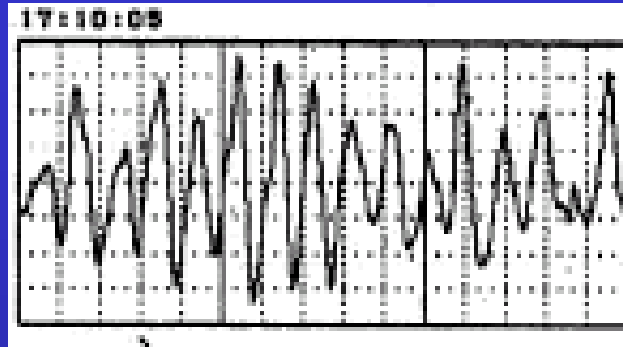
手術室4室

ハイブリッド手術室

ダビンチ

病院ICU新設 12床

17歳男性—サッカー—練習中に心停止





低体温療法



81日目退院

ドクターカー

月～金の日勤帯
将来はワークステーションを院内に



3. 11東日本大震災 DMAT隊の活躍



伊丹空港

自衛隊機での出発前



花巻SCU

SCUに收容された患者の診察



花巻SCU

ここには20機ほどのヘリが集結

脳死からの臓器提供（平成27年3月）

当院として2例目
岡山県で4例目
全国で319例目

- ・ 50才代女性 低酸素脳症
- 心臓 国立循環器病センター
- 肺臓 京都大学附属病院
- 肝臓 九州大学病院
- 腎臓 国立岡山医療センター

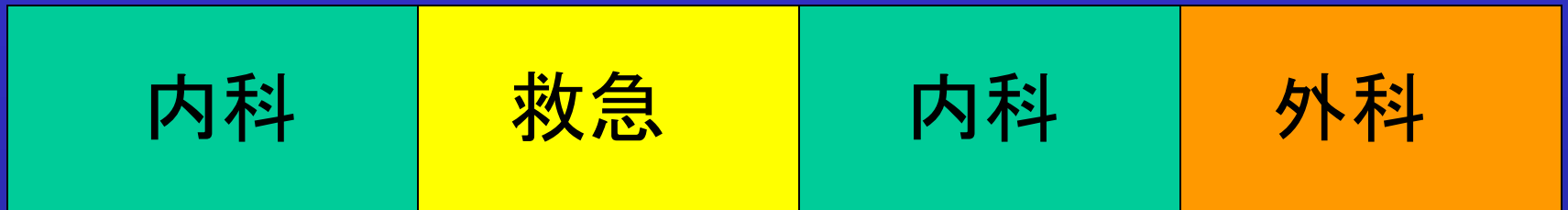


救命救急センター 3次救急入室患者 (平成27年度)

受け入れ救急車数
5043台

救命救急センター加算患者	
来院時心肺停止蘇生後	136
急性冠症候群	128
脳血管障害	94
重症外傷	96
急性心不全	82
呼吸不全	50
消化管出血	87
大動脈疾患	35
敗血症	48
意識障害	56
急性腎不全	15
重症体温異常	21
重症熱傷	8
特殊感染症	9
急性中毒	8
出血性ショック	2
急性肝不全	3
その他の重症病態	109
合 計	987

1年目の初期研修



麻酔：6週間

救急：6週間

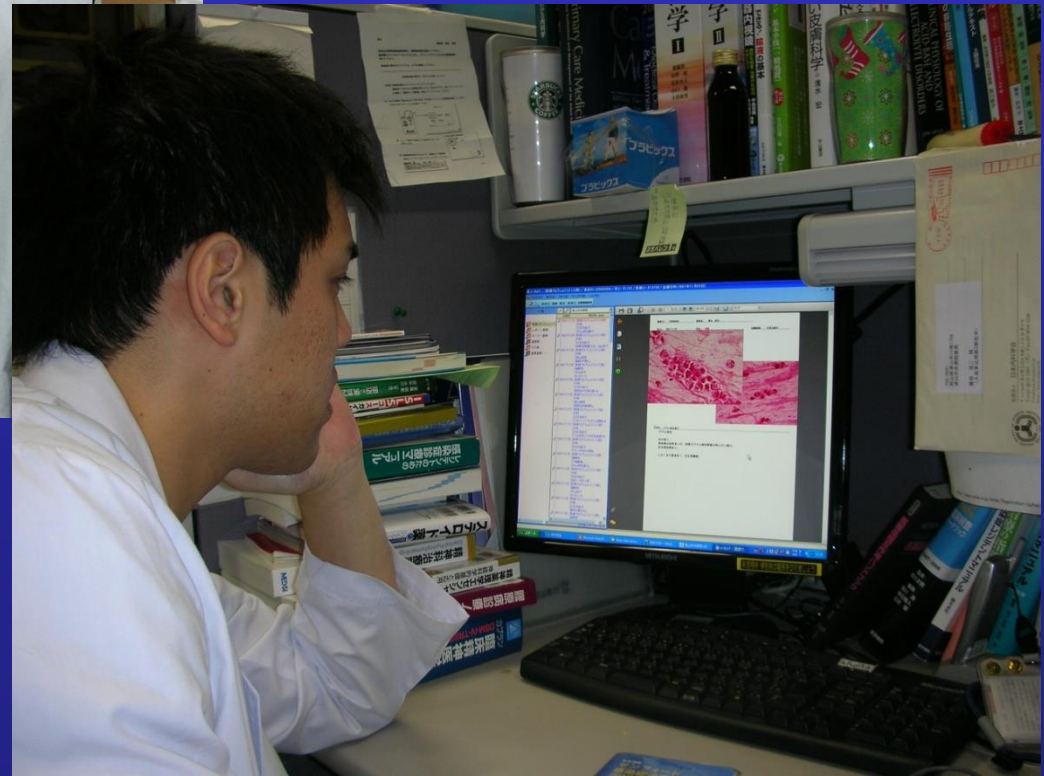
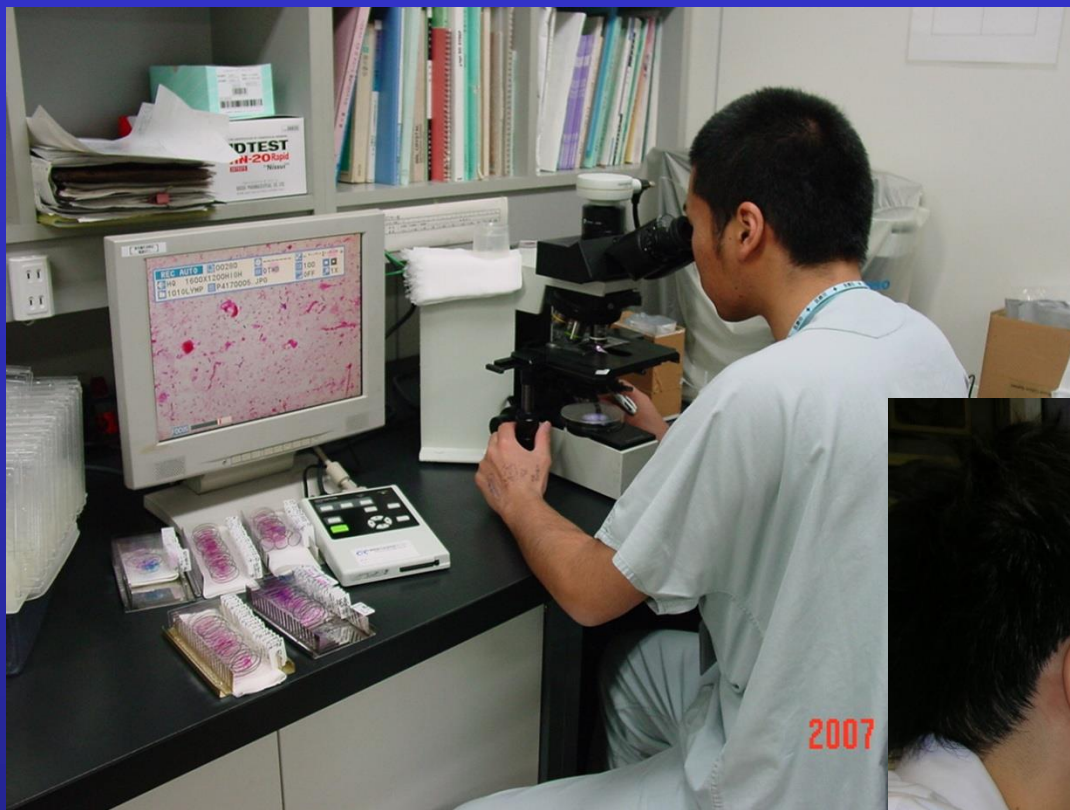
2年間の初期研修

1. 2年間にわたって救命救急センターでみる重症患者と1~2次のER患者に対する救急医療を研修する
2. 心肺蘇生法と外傷初療を一定のガイドラインに従って行う。
(AHA-BLS, AHA-ACLS, ICLS, JATEC は必修)
3. 学会へ積極的に出席し発表する。全国学会と地方学会に年1回ずつ参加可能(病院が全額負担します)。
4. 感染症では必ずグラム染色を行いカルテに鏡検像と所見を記載し、抗菌薬を選択。
5. 内視鏡や心カテーテル検査などの専門性の高い治療法の一步を踏み出すことも可能。

2年間の初期研修で

- 心肺蘇生法
(ICLS、ASA-BLS、ASA-ACLS、PALS)
- 麻酔導入・維持(岡大麻酔科1日研修)
- 集中治療・全身管理
- 救急初療
救急外来——内科・外科・小児科医師
外傷初療——JATEC
脳卒中——ISLS
- 栄養管理(TNT)
- グラム染色
- ドクターカー

グラム染色



救命救急センター

■ 初期研修医2年目でできること

心肺蘇生時のリーダー（BLS, ACLS準拠）
重症患者の全身管理、外傷初療
重症熱傷治療、中毒
ドクターカー同乗

■ セールスポイント

救急初療に必要なシミュレーション教育
心肺蘇生法：ICLS、AHA-BLS、AHA-ACLS、PALS
外傷初療：JATEC、JPTEC
脳卒中治療：ISLS
麻酔導入：岡山大学麻酔科・麻酔導入1日コース
グラム染色を行い、抗菌薬の選択
救急専門医認定施設 3年間で専門医取得

麻酔科

■ 治療実績

2013年度手術件数4930件

麻酔科管理件数1827件(全麻 1692 脊麻 135)

☆開心術 74件(胸部大血管20件含む)

体制:手術室:常勤医3~4名(専門医3名)、
非常勤医1名、研修医2人

■ 初期研修医2年目でできること

気管挿管(ダブルルーメンチューブも)

エアウェイスコープ、ラリングマスク

動脈ライン、気管支ファイバー

中心静脈穿刺(エコーガイド下、エコーガイドなしともに)


硬膜外カテーテル留置

腰椎穿刺

シミュレーションソフトを使ったPCAのドーズ設定

麻酔科

■ セールスポイント

- 地域唯一の基幹病院のため、全科の麻酔管理
- 常に最先端の麻酔管理法
- エコーを用いた診療を積極的に採用
 - 経食道心エコー認定医JP-POT(6人)
 - エコーガイド下血管穿刺(頸部、腋窩、大腿、上腕、前腕)
 - エコーガイド下神経ブロック(腕神経叢、大腿神経、坐骨神経等)
- 地域唯一の救命センター  あらゆる科の急患麻酔
特に心臓血管外科領域の急性疾患の麻酔、全身管理も

☆☆救命救急センターは麻酔科が管理。

救急初療時から、集中治療室退室まで幅広く全身管理

☆☆ 日本麻酔科学会認定病院 (指導医 5人)

日本集中治療医学会専門医研修施設 (専門医 4人)

日本救急医学学会救急科専門医指定施設 (専門医 5人)